

ほうふ Hofu

発行 / 防府市議会

編集 / 議会広報編集委員会

〒747-8501 防府市寿町7番1号

TEL 0835-25-2182 FAX 0835-25-8179

URL <http://www.city.hofu.yamaguchi.jp/sigikai/>

市議会だより No.5

平成19年5月15日



ぼんしょう てんによ
梵鐘の天女

3月定例議会

議案の概要

P2~P3

視察報告

P3

一般質問

P4~P9

市議会ホームページ案内

P11

常任委員会の審査から

P10~P11

議会日誌

P12

6月定例議会の予定

P12

平成19年 3月 定例議会

3月定例議会は、2月23日から始まり、3月23日までの会期29日間でおこなわれました。

平成18年度一般会計補正予算・特別会計補正予算、平成19年度一般会計予算・特別会計予算をはじめ、一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査書の縦覧等の手続きに関する条例の制定、国民健康保険条例の一部改正、留守家庭児童保育施設設置及び管理条例の一部改正、身体障害者福祉センター設置及び管理条例の一部改正など議案47件、決議1件、報告10件、許可1件が審議され、原案どおり可決されました。

主な議案とその審議経過の概要をお知らせします。

条例

基金の設置、管理及び処分に関する条例の一部改正

図書館に対する指定寄附金5,000万円を受けたことを契機に、寄附金を基金として積み立て、図書館資料等の充実ははかるための財源にしようとするものです。

副市長の定数を定める条例の制定
監査委員に関する条例の一部改正
地方自治法の一部改正にもなう関係条例の整理に関する条例の制定

地方自治法の一部改正に伴い、助役にかえて副市長1人を置くこと、収入役及び副収入役を廃止して会計管理者を置くこと、監査委員の定数を原則2人と法律で定められたことに伴う条文整備をすることなどです。

長期契約を締結することができる契約を定める条例の一部改正

新年度から小・中学校及び公民館等の



公共施設に自動体外式除細動器(AED)を設置するにあたり、その契約を長期継続契約として締結できるようにするものです。

一般廃棄物処理施設に係る生活環境影響調査書の縦覧等の手続きに関する条例の制定

市が設置する一般廃棄物処理施設について、生活環境影響調査書(ミニ・アクセス)の縦覧や意見書の提出等の手続きについて必要な事項を定めるもので、新しく建設される予定の焼却場と最終処分場が対象となります。

留守家庭児童保育施設設置及び管理条例の一部改正



留守家庭児童学級の保育料を現行の月額1,560円から月額2,000円に改定するものです。(7月実施)
子育て家庭の負担を増すので反対との

意見も出されましたが、賛成多数で原案どおり可決しました。

身体障害者福祉センター設置及び管理条例の一部改正

障害者自立支援法が本格的に施行されることに伴い、市が設置する身体障害者福祉センター、なかよし園、わかさ園の新体系への移行と愛光園、大平園の運営について必要な改正をおこなうものです。

施設利用者に新たに利用料金を負担させるため、利用者及び施設の双方に困難をもたらすので反対との意見も出されましたが、賛成多数で原案どおり可決しました。

自転車競走実施条例の一部改正



競輪の電話投票業務について、委託先を中四国自転車競技会から社団法人全国競輪施行者協議会に変更するため、自転車競走法の改正に準じて条例を改正するものです。

道路占用料徴収条例の一部改正

道路法施行令の改正により、放置自転車や原動機付自転車等の違法駐車対策と

して歩道等に車輪止め装置等の駐車器具を設置することが認められるようになったため、市道に器具を設置した場合の占用料を定めるものです。

国民健康保険条例の一部改正

国民健康保険法施行令の改正に伴い、国民健康保険料の基礎賦課限度額を53万円から56万円に引き上げるものです。

いまま上の国保料の値上げには反対との意見も出されましたが、賛成多数で原案どおり可決しました。

報告

国民の保護に関する計画の報告

武力攻撃事態等における国民の保護のための措置に関する法律にもとづき作成された防府市国民保護計画の概要が報告されました。

計画の内容は、市役所の1号館閲覧コーナー及び市のホームページで見ることができます。

予算

平成18年度一般会計補正予算

平成18年度一般会計予算総額から、歳入、歳出それぞれ9億679万7千円を減額しました。内容は、決算見込みによる補正が主なもので、原案どおり可決しました。これにより、平成18年度の一般会計予算は360億7,144万1千円

となりました。

平成18年度特別会計補正予算

競輪、国民健康保険、索道、と場、同和地区住宅資金貸付、公共下水道、老人保健、介護保険、水道、工業用水道の10会計について、いずれも原案どおり可決しました。

平成19年度一般会計予算

平成19年度特別会計予算

平成19年度の一般会計予算に363億4,800万円、特別会計予算(水道事業会計を含む13会計)に546億2,708万4千円を計上しました。行革による市民サービス低下、生活保護の母子加算の段階的廃止や就学援助の適用基準引き下げなどの理由による反対意見も出されましたが、賛成多数で原案どおり可決しました。

委員会での審査経過等は、10、11ページをご覧ください。(予算規模等は、市広報4月1日号をご覧ください。)

決議

山口地方務局防府支局の存続を求める要望決議

山口地方務局防府支局は、廃止・統

議員の辞職

田中敏靖氏は、2月28日をもって市議会議員を辞職されました。

合が検討されています。

防府市は、人口12万人を擁する山口県下でも有数の商工業地域として、事業活動も活発で、防府支局の役割は今後も必要不可欠で、重要な機関です。防府支局が廃止・統合となれば、防府市と市民にとって利便性、経済的・時間的損失は大きなものとなります。

防府市議会は、山口地方務局防府支局の存続を求める要望決議を全会一致で可決しました。

視察報告

観光振興について2月5日から7日に、三重県亀山市、愛知県犬山市及び奈良県橿原市の3市を行政視察しました。亀山市での視察内容の概略を報告します。



観光振興対策調査特別委員会

の要衝で、東海道47番目の宿場として、参勤交代や伊勢参りの人々で賑わっていました。東海道沿線が戦災や戦後の開発によって大きく姿を変えていく中で、唯一、歴史的な町並みが残っていることから、昭和50年代に町並み保存の動きが本格化し、昭和59年には国の重要伝統的建造物群保存地区の選定を受け、官民一体となって、町並み保存に取り組んでいます。ここには、江戸時代から明治時代にかけて建てられた古い町家200軒あまりが残っています。

この地区は居住者の生活の場になっており、あくまでも、「生活の場」の向上を目指した保存を優先し、観光振興はその延長線にあるとの考え方で町並み保存に取り組んでいるのが特徴です。防府市のまちづくりの参考にしたいと思います。



Q&A 一般質問



3月定例議会では、17名の議員が市政をただしました。

質問と答弁の一部を発言順に紹介します。詳細については、会議録を6月中旬に製本しますので、市役所1号館閲覧コーナー、防府図書館をご覧ください。防府市議会のホームページでも会議録を見ることができます。

なお、議会だよりの原稿は、議員本人が作成したものを掲載しております。

「土地区画整理事業と

農用地の法人貸付」について

安藤 二郎（みどりの会）

問 土地区画整理事業が真に目指しているものは何か。

市長 公共施設である道路、公園などの整備改善、及び宅地の利用増進を図るため、面的な拡がりを持った区域の土地の区画形質を整えると共に、公共施設を一体的に整備することにより、健全な市街地の造成を図り、良好なまちづくりをめざすものでございます。

問 今後の問題点と課題はどんなことが。

市長 この事業は、権利関係の調整や事務が極めて複雑であり、受益者の負担である「減歩」についての理解を得ることが大変困難を極め、結果的に事業期間が長期に及び莫大な財政負担が生じることとなります。

問 農業法人以外の法人への農用地の貸付は。

産業振興部長 特定法人への農地の貸付対象地域

については、現在富海地区を指定しており、43・57haの耕作放棄地のうち、要活用農地が21・87haあります。

問 市内の法人に対してそれらの情報は十分に発信しているか。

産業振興部長 市のホームページ等で発信しているが十分とはいえない。

問 これまでに何件のか引き合いはあったか。

産業振興部長 1件もありません。

要望 十分な情報発信に努め、法人参加を推進しましょう。



農業生産法人以外の法人が参入できる農地(富海)

地球温暖化防止に向け

「省エネナビ」の導入を

伊藤 央（息吹）

環境行政について

問 庁内ではどのような省エネ運動に取り組んでいますか。

総務部長 環境に配慮した製品の購入や、クールビズ、ウォームビズで執務することで、冷房は高めに、暖房は低めに温度設定をする、昼休みに不要な照明を消灯するなどして電気・ガス使用量の削減を図っています。

問 電気の使用量をリアルタイムに表示する「省エネナビ」を導入してはどうですか。

総務部長 電気の使用状況を目に見えるようにすることは、職員の省エネ意識を高める手段と考えられますので、設置可能かどうかを含めて検討します。

要望 省エネへの取り組みに限らず、期限目標、数値目標をきっちり定めて、「いつまでに、どれくらい、どうするか」を

示し取り組むことが必要です。様々な取り組み・

施策において、具体的な目標設定を行われるよう要望します。



電気使用量を表示する「省エネナビ」

行政改革について

問 職場改善提案制度を取り入れてはどうか。

市長 新年度から新たに行政経営品質向上推進事業に取り組みます。目指す方向は一致していると考えています。

要望 トップダウンとボトムアップのバランスの取れた風通しの良い組織の中で行政改革が進められることを希望します。

いつでも気軽に投球練習ができる 「投てき板」の設置を

原田 洋介（息吹）

問 キャッチャーがいなくても、ひとりりで投球練習ができる「投てき板」を設置することはできないか。大平山山頂公園多目的広場に「カベ打ちウォール」が設置されたが、地面がコンクリートのため、投球練習には適さない。いま新体育館建設の構想が立ち上がり、スポーツセンター周辺が様変わりしようとしているところである。スポーツセンター周辺が最適地だと思うがどうか。



大平山山頂公園の「カベ打ちウォール」

教育次長 現在、市内の小・中学校10校に投てき板が設置されており、児童・生徒が使用している。これまで運動公園に設置を検討してきたが、広さもかなり必要であり、候補地も限定され、当面、設置は困難と思われる。

要望 大がかりな施設を言っている

のではなく、広場の端にちよつとした壁があればいい。いま市内に外で安全に遊べる場所が少なくなっている。今後も引き続き設置を検討して欲しい。

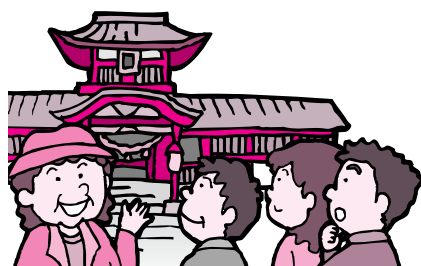
その他の質問項目

- ・都市の緑化について
- ・「緑の基本計画」の進捗状況について
- ・市民参加によるコミュニケーションセンターを作ることにについて
- ・公共施設の有効活用について
- ・ホールの空き時間を有効に活用することについて

地域再生・まちづくりとリンクした 観光振興について

今津 誠一（六日会）

問 観光は今世紀最大の産業といわれ、現に国際、国内観光とも着実な伸びを示している。観光は外貨（ここでは市外のカネの意）獲得に優れた産業で地域経済の活性化に有効である。いま、全国で観光振興に成功したその実例をみると、これまでの名所、旧跡観光とは一味違うものが多い。それはその地域のどこにもある資源を地域のブランドとして商品化することに成功している。そこで防府市の観光振興のための提言を申し上げる。



市民のアイデア、政策を取り入れるためパブリックコメント制度を活用してはいいかがか。

市長 大賛成で早速取り組みを検討したい。

問 産官学共同の視点から山口大学（観光政策学科）と連携し、学生の新鮮な感覚を活かし、時代の主流に沿った観光を考

えてはいいかがか。

市長 協力体制をとれるよう早速取り組みたい。

問 市の観光への取り組みの姿勢を明示し、又広く市民にも理解を得るため、「観光立市都市宣言」と「観光立市推進条例」の制定をしてはいいかか。

市長 今後の課題として受け止めたい。

問 来訪者の受け入れ体制（ホスピタリティ）をもっと整備すべきと思うがいかがか。

市長 まだ充分でないことは残念です。

積極的な企業誘致を！

藤本 和久（みどりの会）

問 本市は松浦市長の率先垂範で行政改革に取り組み、財政状況は格段に好転しました。歳出の削減も必要ですが、歳入の増加も考えなければなりません。その一つの手段である企業誘致についての市長の思いを聞かせてください。



市長 本市には、自動車産業をはじめとした多くの企業が進出し、製品出荷額は県内でも、一、二を争うものであり、これが本市の活力源の一つに

なっています。しかしながら、一方で、地方財政の厳しさは増しており、更なる財政の健全化を図る必要がある。歳入増につながる企業誘致は大変重要だと考えており、積極的に企業誘致を推進してまいりたいと存じます。

問 昨年、ある企業の本市への進出の話がありました。山口市への進出を決めました。土地の値段が大幅に開いたと聞いています。本市には保有している工業用地はありません。土地の価格競争に勝つためには土地の取得は必要だと思えますがいかがでしょうか。

市長 工場の立地していない土地などを所有者と協議しながら、誘致を進めているのが現状で、土地の取得の必要性は認識しております。現在、庁内で協議していますが、結論を出す時期にきていると考えています。

地球環境にやさしいまちづくりを

公共下水道、合併浄化槽の普及促進

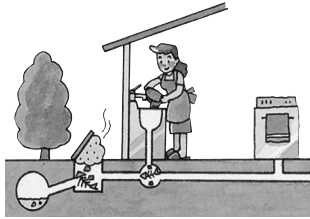
大村 崇治たかはら(明政会)

問 地球温暖化が深刻化し快適な生活環境や海・河川の水質保全を目指し公共下水道などの整備を積極的に推進する必要がある。新年度における認可区域の拡大と今後の推進計画は。また下水道への未接続により生活雑排水が流出し水質汚濁や悪臭が発生し周辺環境に悪影響を及ぼしている。これの対策は。

市長 平成19年度認可区域に隣接する牟礼、右田、中関地域179haを拡大。富海地域は、浄化センター処理の方が経済的で平成23年頃から予定。大道地域は山口市秋穂との連携した整備が経済的で今後の動向を見極めた。ほ場整備に係る農業集落排水事業による合併浄化槽はこれらの調整や地域の実情に適した整備を検討してまいりたい。

その他の市街化区域も平成30年度を目標に取り組

んでまいりたい。向島地域は漁業集落排水施設で検討している。小田地区はポンプにより送るか、大型浄化槽にするか検討してまいりたい。
公共下水道の未接続対策は平成19年度から汚水処理の窓口を一本化し、水洗便所改造資金融資あっせん制度をより利用しやすくし、あらゆる機会を捉え水洗化率の向上や目的などの法的義務について説明してまいりたい。



その他の質問項目

都市ガスの安全対策
平成16年4月から一酸化炭素を含まない安全なガスを供給しております。(山口合同ガス)

交通安全対策と事故防止及び、隠れた名所旧跡の活用を!

重川 恭年やすとし(新人クラブ)

問 交通事故は加害者も被害者も悲惨である。事前の予防、防止対策が必要である、実態はどうなっているのか。

市長 市民の安心、安全確保を願う施策を実施している。しかし社会状況の変化の中、厳しい実態が続いている。

問 交通違反三悪は別として、一旦停止標識等の箇所に、事前注意喚起のカラー舗装などの導入でウツカリ違反や、反則の事前防止策を図ってはどうか。

土木都市建設部長 ドットマークを設置している交差点もあるが、県公安委員会や警察と連携し、十分協議していききたい。

問 市内には有名観光地以外にも隠れた名所、旧跡が多くある、もつと広報し活用してはいかがか。
市長 歴史遺産や文化財以外に多くの旧跡等が存



旧山陽道佐野峠から望む絶景

在していることは認識している、冊子やホームページでも公開している。

問 その利活用が大切だ。市民やボランティア団体などと共同で模索してもらいたい。右田ケ岳や旧山陽道佐野峠などもすばらしい名所、旧跡だ。

教育次長 利活用するための整備、PR等も課題で、多くの市民の方々の協力を得ていきたい。

市長 平成19年度に市民活動推進課を新設する。市民と共同で施策の実現に努めてまいりたい。

母子の健康福祉について 妊婦の無料健診を5回以上に!

高砂 朋子(公明党)

問 厚生労働省は、本年2月合計特殊出生率は4年振りに1.3台を回復の見込みと発表。出生率の増減だけが大きく取り上げられがちですが、大切なのは、子供を産み育てる環境をいかにつくっていくかだと思います。

現在、防府市では妊婦一般健康診査として、前後期1回ずつ無料。全国平均受診回数は14回、健診費用は全額自己負担で、2回分の無料措置はありがたいものの、残りの負担額は平均12万円、大変高額な負担です。妊娠出産への心のブレーキの一つになっています。

厚生労働省は、この度新しい少子化対策の一環として、母子の健康確保を狙いとして健診費用の無料回数拡大をとしています。どのように取り組むかは市の決断。当局のお考えを聞かせてください。

健康福祉部長 妊娠中の経済的負担軽減と共に受診しやすい環境づくりは必要なので、検討してまいりたい。

その他の質問項目
マタニティマークを通して妊婦に優しい環境を外見からは分かりにくい内部障害者の方の暮らしを守る為のハート・プラスマークの普及を

移動図書館車(BM)の導入を



マタニティマーク



ハート・プラスマーク

「防府の顔づくり」として 観光重点整備地区を！

松村 学（明政会）

問 観光立国推進基本法施行後、本市の観光に対する実践的な計画は？防府には、観光資源が広く分布し、観光の核になるものがないので、観光重点整備地区を設けては？

市長 今年度、観光振興懇話会に諮り、実践計画も検討します。また観光企画室を設け、全庁的に取り組めます。当面は、集客力の高い防府天満宮、周防国分寺、毛利氏庭園がある「山陽道歴史重奏軸」を重点整備エリアとして位置付けたい。

問 交通アクセスや観光空間を作り出すために、景観整備も含めた観光ロードの整備については？

市長 今年度、新橋牟礼線の周防国分寺・毛利氏庭園間が開通します。宮本陣兄部家から毛利氏庭園まで歴史的景観に配慮した散策ロードの整備も計画しています。

問 食の観光として、防府の「はも料理」を昨年より売り込んでいるが、市としての取り組みは？

市長 先般、大阪で開催された情報発信会において、200社のエージェンツ等へ誘客宣伝に努めてきた。今後、「はも」を使った土産品の開発やホームページを開設し、防府の特産品情報の発信の予定です。



防府名物 はも料理

問 広域的な観光としての市の取り組みは？

市長 「萩往還・散策マップ」防府の巻が今年度の完成予定で、マップの活用も含め、広域的観光について検討する。

産科医不足に対処を 国保証取りあげやめよ

木村 一彦（日本共産党）

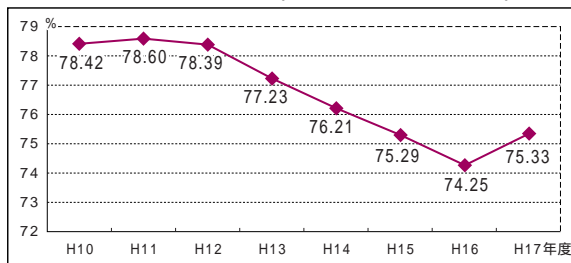
問 市内でも10年前7院あった産科開業医が2院に減り、産科医不足が深刻です。医師確保に積極的に取り組むべきと思いますが…。

市長 県も修学資金貸付や女性医師の離職防止に取り組んでいます。市としても国、県に対して医師確保と適正配置を強く要望していきます。

問 国保料滞納者への制裁措置である保険証取りあげが急増している一方、収納率は年々低下しています。保険証取りあげは滞納克服に役立たないばかりか、滞納者の命と健康を奪つことになりかねません。取りあげをやめ、申請減免制度を広げるべきだと思いませんか？

市長 生活困窮者や失業、疾病などで所得が減少した世帯など「納付しなくても納付できない」被保険者に対しては、納付相談や減免制度の適用

防府市の国保料収納率(現年度分+滞納繰越分)



など、適切に対応していきます。

問 文部科学省は4月24日に全国一斉学力テストを行います。これは学校間や地域間の格差や序列化を強め、子ども達をいっそう競争に駆り立てることになりませんか？

教育長 序列化や過度の競争をあらわないようにという指摘もあります。市教委は学校別の結果は公表しません。

学校給食の改善を！

田中 健次（市民クラブ）

問 中学校給食のアンケートでは、「おいしい」12%、「まあまあ」54%、「おいしくない」34%と、評価がいまひとつであり、どう考えているのか？

教育次長 献立作成委員会での意見交換や学校との連携で、改善をしています。給食センターで試食された方には、一定の評価をいただいています。

問 冷凍品、加工品に頼らないで、もう少し手間をかけた調理にこだわるべきではないのか？

教育次長 限られた調理員での短時間大量調理なので、肉・魚類は下処理された食材の使用はやむを得ないと思います。献立の工夫で手づくり感のある調理を心がけたい。

要望 冷凍品、加工品に頼らないように、他のセンターにある調理器械をいれてほしい。

また、配送から食事までの時間が1時間半以上

あり、これではおいしくありません。下松市は配送車が1校1台で、食事までの時間を短縮しています。

問 小・中学校給食とも、給食費の1食につき10円は燃料費にあてられています。これは市が負担すべきではないのか？

教育次長 学校給食には、燃料費のほか、電気、水道など含めて、多額の経費が必要であり、御理解をお願いします。

要望 山口市等は市負担です。検討してほしい。



給食センターの調理

その他の質問項目

新廃棄物処理施設でのメタン発酵処理
監査請求の監査の仕方
食育推進基本計画

災害時要援護者の避難支援ガイド ラインと娯楽施設での防火管理は

平田 豊民あつひと (政友会)

問 災害時要援護者の住所、氏名等のリスト作成と自主防災組織等と情報を共有した避難支援計画は出来たか。

市長 市には多くの災害時要援護者の情報を保有しております。しかし、これらの情報は業務のための情報であり、個人情報保護の観点から防災用の災害時要援護者のリスト作成には至っておりません。この事より、市にある情報を災害時において活用する事が出来ないか、法律の改正を含め画において検討中でありませ

一方、災害時要援護者への対応も含め、防災で一番重要な事は家族を含めた自助、共助が大切であると考えますし、結成された自主防災組織の活動が充実するよう、新年度予算で自主防災組織育成事業補助金を計上しているところです。

問 消防署では、老人家庭を訪問しているの事だが。

消防長 春、秋の火災予防週間に、一人暮らしの高齢者世帯を対象に防火診断をしております。

問 消防法に基づく防火管理は。

消防長 1月22日から市内の個室カラオケボックスの緊急立入検査をいたし、パチンコ店につきましては、定期立入検査を行い、防火管理について強く指導いたしております。



市内の松枯れ対策について!

藤野 文彦 (民友会)

問 鞠生の松原には多くの松が立っていたが、小さい虫の被害より、由緒ある松原が消えていくのは真に忍びない。市の公施設である、公園、公民館、及び小・中学校には100年を超えて生存している松が多くある。

歴史と文化を将来に継承していくための具体的な方策、予算はどうか。

市長 被害木を伐倒した後、短く切り、薬剤を散布する「伐倒駆除」を実施するとともに、市広報を通じて市民の方へ駆除を呼びかけている。

松くい虫に強いとされている抵抗性松「きらら松」を天神山森林公園に植林している。伐倒駆除等で山に入る際、同種子を播いて市内の山林に松が回復するよう努める。

保安林等に植林する場合、「きらら松」を植林するよう県に要望している。



松の木がない野島小・中学校を除く26校は、毎年1回、マツノマダラカミキリ対策として、地上散布を実施。マツノザイセンチュウ対策は、4グループに分け1グループごとに、4年に1回、予防薬の樹幹注入を実施している。しかし、年間数本は、伐採を余儀なくされている。

平成19年度予算は市全体で310万円余を計上。

問 鞠生の松原の継承はどうするのか。

土木都市建設部長 きらら松100本植樹し、樹幹注入による予防を実施している。

地産地消を推進し、 学校給食に地場産食材の利用を

山本 久江 (日本共産党)

問 日本の食料自給率がカロリーベースで40%、穀物では28%という深刻な状況にある中、地域の消費者のニーズを捉え生産し、地域で生産された農産物等をその地域で消費しようという地産地消の取り組みが広がっている。

昨年3月に策定された

昨年3月に策定された食育推進基本計画では、学校給食における地場産物の割合を平成22年度には30%以上とする目標値が示されているが、市の現状と今後の取組みは。

教育次長 1月22日から26日までの調査で、県産品が27%、うち市内産は13%となっている。米は全量市内産、中学校では玉ねぎを概ね市内産で賄っているが、引き続き、農業関係者と連携を図りできる限り地産地消を進めていきたい。

問 地産地消の意義を子どもたちへ伝える具体的な取り組みは。



教育次長 学校給食だよりや学校栄養職員による食の指導とあわせ、今後、地元食材を使った「地場産給食の日」を設けるなど地域と食材、食文化などについて発信したい。

問 昨年7月、農水省の通知で、地産地消推進計画の中に学校給食への地場産食材使用の積極的目標設定を求めているが、市はどのように考えるか。

産業振興部長 地産地消推進計画の見直しについては、実効あるものとするため、食育基本計画と一体のものとして、研究していく。

各種証明書 自動交付機の導入を 地球温暖化対策でマイ箸運動

三原 昭治（新人クラブ）

問 行政改革の一環として、事務作業の軽減による経費の削減と市民の利便性向上につながる施策として、住民票の写しや印鑑証明などの証明書の自動交付機を導入しては。

市長 住基カードの関係や導入経費など費用対効果から現時点では考えていないが、今後、研究したい。

問 導入コストや導入自治体の利用率は調査したのか。

生活環境部長 導入コストは5千万円前後。県内3市で導入しているが、利用率は低いと聞いている。

問 3百万円台の自動交付機も出ており、新年度から国の補助事業もある。県内3市は運用、普及に努力していないから利用率が低い。先進市では住民票45%、印鑑証明82%の市もあるが。

生活環境部長 今後、調査、研究していきたい。

問 深刻化する地球温暖化対策として、森林を守るため、割り箸をやめ、マイ箸運動を、まず行政が率先して取り組んでほしい。

市長 環境負荷の軽減に確実に効果があり、策定中の環境家計簿に「割り箸からマイ箸」を行動目標に、行政が範を示し実践するため市役所環境保全率先実行計画プログラムに、それぞれ盛り込む。

問 学校給食もマイ箸に切り替えれば児童・生徒の環境意識の高揚にもつながるのではないかと。

教育次長 環境教育からも検討したい。



防犯対策について

山根 祐二（公明党）

問 各学校の敷地内で道路に面した位置に防犯灯を設置してはどうか。

市長 小・中学校の校舎及び屋内運動場については建物の周囲へ直接外灯を設置し、児童・生徒への防犯対策に努めている。小・中学校の周辺部は、住宅地、農地などあり、周辺住民に対する就寝時の照明への配慮、農作物に対する照度による悪影響等を考慮する必要があるが学校や周辺地域とも協議して対応していきたい。なお、昨年3月の山根議員の提案の太陽光式白色LED街路灯を完成間近の佐波小学校屋内運動場入り口前に1基設置することにしている。

問 通学路の安全の観点から是非必要と思われる場所には学校の要請により市が設置し、維持管理してはどうか。

土木都市建設部長 通学路は市内全域の広範囲で



新設された佐波小の街路灯

設置基準の設け方や財源確保も困難である。

問 他市で市が積極的に防犯灯を設置しているところがあるがどう思うか。

市長 先進事例などを調べ現実に即した対応、調査をしたい。

問 各家庭の玄関灯や門灯を夜間、点灯しておく1戸1灯運動を呼びかけてはどうか。

市長 防犯ボランティア団体との連携も含め、地域ぐるみの防犯活動の一環として協議していく。参加者に対する支援は市民の自発的な防犯活動と考えるので理解してほしい。

孤独死を防ぐことを目的とした事業について 配食サービスの実態について

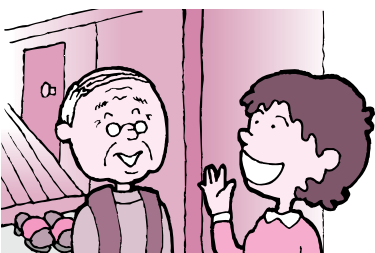
山下 和明（公明党）

問 一人暮らしの高齢者が自宅で亡くなり第三者によって数日後に発見されるという孤独死が問題となりつつあるが、一人暮らし高齢者を対象とした事業を更に周知すべきではないか、そして訪問、声掛けをしていく地域一体の見守り協力員の拡充と「孤独死防止対策を検討する会議」を発足してはどうか。

市長 見守り施策として誰かと顔を合わせる仕組み等を実施している。また友愛訪問活動事業等で地域住民の方々の協力により実施している。従って孤独死防止対策検討会議の設置については現状では考えていない。しかし厚生労働省においては都市部を中心に孤立死ゼロ・プロジェクトが創設されている。今後、国の動向によっては対応が必要となるのが考えられる。

問 一人暮らしの独居世帯は急増しているが、「配食サービス」の利用者は平成15年度で「274人」平成18年度では「142人」と、ここ3年で利用者は半減しているが今後の対応と改善はどうするのか。

市長 近年利用者の方々も多様化しており選択肢は必要と考えている。今回、事業所の募集を実施し、市内全体に広げ平等、公平にサービスの利用ができるよう努めたい。

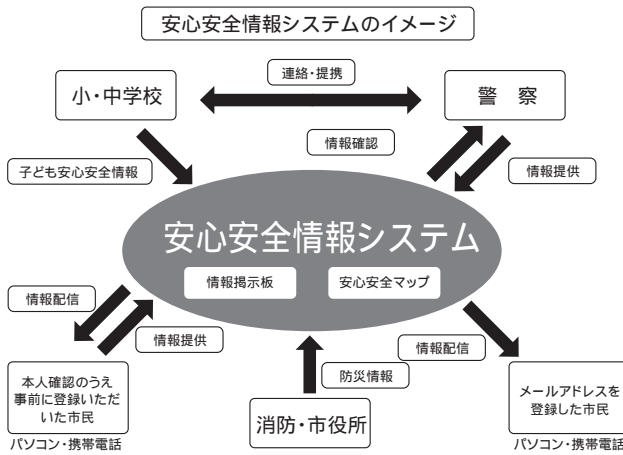


常任委員会の審査から

3月定例議会では、2月26日、3月12、15日に委員会が開催され、付託案件の審査がおこなわれました。
 ここでは、平成19年度予算についての質疑応答、意見、要望などの主な内容をお知らせします。

総務委員会

市税等の徴収では、コンビ二収納の導入や徴収担当が増員され、徴収強化がはかられるとの説明がありました。
 自主防災組織は、38団体で組織され、世帯数では約30%の組織率であることが



自主防災組織として活動するための補助金について、説明がありました。

行政経営品質向上推進事業は、住民の視点で市の組織のあり方を見直し、行政運営全体の質の向上を目指すもので、今年度は、職員全体が経営品質の考え方を理解するための研修等がおこなわれるとの説明がありました。

配偶者等からの暴力に関する相談員が1名配置され、関係機関と連携をとりながら保護、支援、指導にあたるとの説明がありました。

地域安心安全情報システムでは、不審者情報や防災情報を配信していますが、登録者が見込みより少なく、引き続き、協力をお願いし、充実していくとの説明がありました。

教育民生委員会

生活保護については、母子加算が平成19年度から3年間をかけて廃止されます。母子加算は、防府市の場合21、640円ですが、平成19年度は約14、000円、平成20年度はその半額、平成21



改造が予定される給食室

年度には廃止となる予定との説明がありました。

新規事業の父子家庭支援事業は、中学校までの子どもを養育している父子家庭を対象に、家事の補助的な支援サービスを行うものです。月に4回ほど使える券を交付し、1、2時間の範囲内で委託契約を結んだところに、家事をお願いするとの説明がありました。

廃棄物処理施設建設は、市の担当者のみの対応では難いため、PFIアドバインザリー業務を委託し、要求水準書などの技術的・法律的支援をお願いするとの説明がありました。

フツ化物洗口法について、平成18年度、小野・玉祖小学校をモデル校として実施しましたが、新年度は全小学校で実施し

ますとの説明がありました。
 「洗口液を間違って飲んだ場合等の対処について、注意して欲しい。」という要望がありました。

小学校給食室改造工事は、中関・華城小学校の、給食室排水を改善するものです。また、他の学校も、ドライ運用とするため消毒保管庫・三層シンク等の備品を設置します。今後の小学校給食は、自校調理方式のまま順次改修を進めていきたいとの説明がありました。

「青少年科学館のリニューアルを検討する際に、文化福祉会館の天体望遠鏡の移設を検討して欲しい。」という要望がありました。

経済委員会

品目横断的経営安定対策に対応するための認定農業者は、現在116名で、今後も出来る限り多くの方が認定されるよう支援してまいります。また、集落営農組織は現在3団体で、平成19年度では、1団体が設立の予定となっていますとの説明がありました。

県事業で野島沖に設置される予定の大型魚礁は、平成19年度より3年間で106基が設置されるとの説明がありました。

シルバー人材センターに対し、高齢者活用子育て支援事業費補助金を交付していますが、この事業は子どもの送迎や出産時の家事手伝い等をおこなうものです。また、シルバー人材センターでは天

神商店街の『おいでませ』でも子育て支援の活動をしており、少子高齢化の中で、高齢者による子育て支援を進めていく必要があるとの説明がありました。

まちの駅の設置については、平成19年度に基本構想を策定し、平成20年度に実施設計、平成21年度に建設予定となっております。天満宮、国分寺、毛利氏庭園のある歴史的エリアの中に観光振興の核となる施設を設置するもので、土産物・地元産品等を置くとの説明がありました。

「まちの駅については、農業団体や消費者団体等色々な方々が参画できる構想が大事であるので、建設、運営については、市民各層の意見やアイデアを取り入れて欲しい。」との要望がありました。



天神商店街の「おいでませ」

建設委員会

近年増加してきている合併浄化槽の設置に必要な検査員が、1名増員されます。これにより、下水道事業と同様の適正な工事検査体制が確保できるとの説明がありました。

市営住宅全戸を対象とした火災警報器設置工事が、今後4か年で実施されます。10年間使用できる電池式のもので予定され、一部の例外を除いて、全ての部屋に設置されるとの説明がありました。

カーブミラーやガードレール、横断歩道等の設置は、前年度に施工できなかった箇所も含めて、市民からの新規の要望どおりに設置できるとの説明がありました。

法定外公共物(里道・水路)は、県から



浄水池棟建設予定地(人丸)

市議会ホームページ案内

- 1 会議の日程等 会議の日程がわかります。また、議会が開会すると、一般質問の項目が掲載されます。
- 2 傍聴 議会傍聴の仕方はこちらをご覧ください。
- 3 定例会・臨時会の結果 提出された議案の簡単な説明とその審議結果。
- 4 会議録 本会議の会議録はここで見られます。議場でのやりとりがわかります。
- 5 市議会だより バックナンバーもあります。

市への移管後、原則として地元での管理をお願いし、道路補修改修は、補助金制度や原材料の支給制度があります。地元での対応が難しい場合は、状況に応じて協議させていただきたいとの説明がありました。これに対して、「高齢者が多い地区などでは、地元が舗装するのは非常に難しい。地元の方以外も利用する公共性

のある道路で、補修が必要な箇所がどのくらいあるのか調査してもらいたい。」との要望がありました。

水道事業では、老朽化した人丸水源地の改良工事を3か年の継続事業として実施する予定で、新年度では浄水池棟の築造と、場内配管工事をおこなうとの説明がありました。

議会日誌

2月

- 5日 観光振興対策調査特別委員会行政視察(～7日)
・城下町再生の取り組み(犬山市)
・関宿・町並み保存事業(亀山市)
・景観まちづくりと観光振興対策(檀原市)
- 9日 議会運営委員会
経済委員会(所管事務調査)
・農業振興対策
- 16日 教育民生委員会(所管事務調査)
・新体育館建設について
・学校給食について
・清掃事業について
- 19日 公有地公募検討委員会会議の報告会
山口・防府地区広域事務組合議会の報告
- 20日 議会運営委員会
- 21日 勉強会(新年度予算、条例改正等)
- 23日 3月定例議会開会
議会運営委員会
広報編集委員会
- 26日 常任委員会(総務委員会、教育民生委員会、経済委員会、建設委員会)
建設委員会(所管事務調査)
・市営住宅について
- 28日 本会議(委員長報告、市長施政方針演説)

3月

- 5日 本会議(新年度予算審議)
- 6日 本会議(一般質問)
- 7日 本会議(一般質問)
- 8日 本会議(一般質問)
議会運営委員会
- 12日 総務委員会
- 13日 教育民生委員会
- 14日 経済委員会
- 15日 建設委員会



- 19日 議会運営委員会
- 23日 3月定例議会閉会
議会運営委員会
広報編集委員会
- 28日 広報編集委員会



春川市議会議員団来訪(4月17日)

4月

- 10日 広報編集委員会
- 13日 教育民生委員会(所管事務調査)
・文化財保護について
・学校給食について
- 16日 広報編集委員会
- 17日 議員交流 大韓民国春川市議会議員団来訪
(～20日)
- 23日 全員協議会(公有地の売却)
広報編集委員会
- 24日 教育民生委員会行政視察(～26日)
・学校給食基本計画・学校給食調理場のドライ化(東近江市)
・新清掃工場・新水泳場整備運営事業(浜松市)
・総合体育館建設(加古川市)

6月定例議会の予定

- 11日 本会議(開会)
- 18日 本会議(一般質問)
- 19日 本会議(一般質問)
- 20日 本会議(一般質問)
- 22日 常任委員会(総務委員会・経済委員会)
- 25日 常任委員会(教育民生委員会・建設委員会)
- 29日 本会議(閉会)



会議の開会時刻は、午前10時です。

なお、日程は変更になる場合があります。

詳しくは議会事務局までお問い合わせください。

議会事務局 TEL 25-2182

編集後記 表紙の説明

防府の文化財を取り上げる第2回目は、梵鐘の天女です。表紙は、岩淵観音寺の梵鐘(市指定有形文化財)に铸出されている天女像です。毛利輝元の長女が寛永19年(1642年)に鐘楼とともに寄進したもので、当時三田尻に在住していた铸物師塚本信久の铸造です。

勝間地区には、「铸物師」と呼ばれる町名がありますが、鎌倉期頃から铸物師が住んでいたことが地名の由来と言われています。

防府の铸物師は山口県内の多くの寺社の梵鐘をつくりました。市内のものでは、大楽寺と切畑玉祖神社の梵鐘が市指定有形文化財となっています。市外にある古いものは、周南市の遠石八幡宮の梵鐘が鎌倉時代であり、また、遠いところでは、国指定重要文化財になっている沖繩の2つの梵鐘(室町時代)などがあります。

『防府市史・資料』には、防府の铸物師による市外の梵鐘・半鐘などが50以上も紹介されています。興味のある方は、『防府の梵鐘』(いずれも防府市教育委員会発行)とあわせてご覧ください。

議会広報編集委員会

- 田中健次 原田洋介
松村 学 平田豊民
木村一彦 横田和雄
(委員長、副委員長)